

# ひなたの郷

文責 郡山市立日和田小学校長 高松宏光

## 【学校応援団活動】に感謝！

子どもたちの健やかな成長には、【子どものやる気】【教師の指導】【地域のサポート】、そして【保護者の理解・協力】が不可欠です。

過日行われた『運動会』は、学校応援団活動に手を挙げていただいた皆様のご協力を得て、子どもたちの笑顔溢れる一日になりました。また、水泳に向けて行われた『プール清掃』では、平日の昼間にも関わらず、13名もの方にお力を借りることができました。3年生の『まち探検』でも多くの方に協力をいただきました。この他、子どもたちの登校の安全のために、代わる代わる保護者の皆様が立哨指導してくださっています。本当に、有難いことです。

PTA 総会でもお話させていただきましたが、宿題や早目の就寝への声かけ、SNS 等への指導など、日常生活の中でのご支援も、十分学校応援団活動です。



運動会：学校応援団種目



運動会：交通整理への応援



プール清掃への応援



3年生：まち探検への応援

子どもたちを褒め、認め、時に注意を促すことが子どもたちのやる気を引き出します。できる形での学校への応援を、今後もよろしく願っています。

## 元気なあいさつに感謝！

朝、学校の正門で「おはようございます」のあいさつをしています。できる限り、子ども達一人ひとりと目を合わせ、「学校に来てくれてありがとう」の気持ちを込めてあいさつをしています。子どもたちにパワーを送っているつもりですが、一方で子どもたちからもパワーをもらっています。有難いことです。



子どもたちの様子を見ていると、自分からあいさつできる子、あいさつをされるとしっかり返してくれる子、あいさつはできないけど目を合わせたりお辞儀をしたりしてくれる子、様々です。一人ひとりの性格もありますし、中には朝が苦手な子もいるでしょう。全員が、元気にあいさつできると嬉しいですが、それが必ずしも望むべきゴールの姿ではありません。一人ひとりが、自分のペースで、健やかに育ててもらえればと思っています。

## 子どものやる気を引き出そう！（外発的動機付け・内発的動機付け）

子どものやる気を引き出す方法は様々ありますが、大きく2つの分類があります。

一つは【外発的動機付け】とよばれるもの。例えば、「テストで100点とったらお小遣いアップ！」「宿題をきちんとやったらゲームの時間を1時間延長」…。子どもの頃、私も親とこのような約束をした記憶があります。こうした「外発的動機付け」は、子どもの行動を促す上で即効性があります。しかし、ご褒美や罰のようなものがなくなった途端、効果がなくなります。つまり、継続性は弱いのです。



二つ目は「内発的動機付け」とよばれるもの。「宿題はどうしてやらなくてはいけないのか？」「早寝早起き朝ご飯は、どうして大切なのか」など、その理由を考えさせます。そうしなければならぬ理由、そうしないとどんなことが起こるのかなど、子どもに【**納得**】させるアプローチです。こうした「内発的動機付け」には「外発的動機付け」ほど即効性は期待できません。しかし、一度その必要性を子どもが理解（納得）すれば、継続的に取り組んでいくことができるのです。

子どもたちの発達段階を踏まえ、この二種類をうまく使うことが大切です。特に「**内発的動機付け**」の**声かけ**を忘れてはいけません。

## 子どもたちの心をつかむために

日頃より、子どもたちの変化を見取るよう努め、気になったことを教職員で情報交換しています。しかし、観察だけでは不十分です。一見仲良さそうに見える子どもたちでも、実際は一方が仕方なく一緒にいる、といったことが現実にはあるものです。子どもたちの心の様子をつかむため、8日（木）全校児童を対象に「こまりごと実態調査」を行いました。



学校の見取りでだけでも不十分です。「学校で見せる顔」と「家庭で見せる顔」は、違うものです。ご家庭でしか分からない様子があるはずで、また、学校でしか分からない様子もあるものです。保護者と学校とで連携して見ていくことが、子どもたちの心の安定につながってきます。

ご家庭の様子で、気になることがあれば、ぜひご連絡ください。